

平成20年度実施の大分県教員採用選考試験の見直し ～教員採用選考試験を県教育委員会と県人事委員会の共同実施～

大分県教育委員会では、教員採用選考試験について、次のように見直しました。

- ① 教員採用選考試験は、教育公務員特例法第11条により教育委員会の教育長が行うと定められているが、法の主旨を踏まえながら、可能な限り第三者（県人事委員会、知事部局）の視点をいれることでチェック機能を強化し、再発防止に万全を期す。
- ② 採点等の一連の試験事務作業のシステムに第三者（県人事委員会、知事部局）が新たに参画する。
- ③ 採点及び面接は、氏名、受験番号がわからない状態で行う。
- ④ 集計業務及び成績一覧表の作成は、県人事委員会が行う。
- ⑤ 県教育委員会は、合格者の選定にあたって、県人事委員会が受験番号ではなく、整理番号により作成した成績一覧表により行う。
- ⑥ 教育長は、合格者を決定するため、選考委員会（教育委員による構成）を設置し、選考委員会で決定した合格者を県人事委員会に報告し、県人事委員会で事後確認した後に、教育長が決裁の上合格発表を行う。

平成20年度実施にかかる業務改善点

一次試験

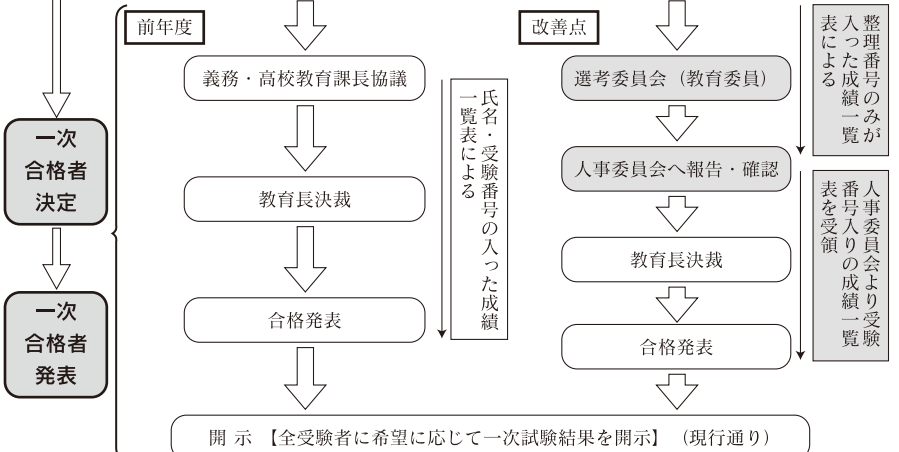
一次試験 問題作成	試験区分	前年度	本年度改善点
・教養試験（一般及び教職） 【択一・語句挿入】	民間委託		変更なし
	指導主事等		変更なし
・専門試験（各教科） 【記述式】	指導主事等		変更なし
・作文	指導主事等		教育委員会・人事委員会（共同実施） ・教育委員会（作文題を複数案作成） ・人事委員会（上記複数案から1題を決定、試験当日提示）
・実技 中（音楽・技術）、 高（工業） 中高（美術・保健体育・英語）	指導主事等		変更なし

問題印刷 問題保管	業務	前年度	本年度改善点
・試験問題の印刷	民間委託		変更なし
	高校教育課		人事委員会が保管・管理

一次試験 実施及び 採点	試験区分及び採点業務	前年度	本年度改善点
・教養試験（一般及び教職）	指導主事等		人事委員会・知事部局
	指導主事等		採点者に受験番号が見えないようにして採点
・専門試験（各教科）	指導主事等		変更なし
・作文（800字）	指導主事等		教育委員会・人事委員会・知事部局（共同で採点）
・実技 中（音楽・技術）、高（工業） 中高（美術・保健体育・英語）	指導主事		変更なし
・水泳（小・中・特支・養教）	体育保健課		変更なし
・集団討論（1班につき受験者7～8名）	委員【各班3人】 ・指導主事 ・学校評議員又はSC ・学校長	委員【各班3人】 ・学校長に代えて人事委員会・知事部局	委員に受験番号がわからないようにして採点

（※注1）試験問題は、1次・2次試験終了後、県情報センターにて即日公開
 （※注2）SCはスクールカウンセラー

入力・集計	業務	前年度	本年度改善点
・読み上げ、入力	義務教育課人事班 高校教育課人事班		人事委員会（氏名・受験番号によらず、整理番号により作成した成績一覧表を教育委員会に渡す）
			人事委員会（氏名・受験番号によらず、整理番号により作成した総合成績一覧表を教育委員会に渡す）



二次試験

二次試験 問題作成	試験区分	前年度	本年度改善点
・実技 小学校（ピアノ演奏・階名唱・ マット運動）、 中高（理科・家庭） 高校（農業・商業・福祉）、 養護教諭	指導主事		変更なし
	民間委託 （マークシート）		変更なし

二次試験 実施及び 採点	試験区分及び採点業務	前年度	本年度改善点
・実技 小学校（ピアノ演奏・階名唱・ マット運動）、 中高（理科・家庭） 高校（農業・商業・福祉） 養護教諭	指導主事		変更なし
	面接委員【各班3人】 ・教育委員会 ・民間企業	①模擬授業・面接I ・教育委員会 ・人事委員会・知事部局 ②面接II ・教育委員会 ・民間企業 ・人事委員会・知事部局 ※オブザーバー（保健師・臨床心理士）	委員に受験番号がわからないようにして採点
・模擬授業・個人面接	委員に受験番号がわかる状態で採点		
・適性検査	民間委託 （マークシート）		変更なし

入力・集計	業務	前年度	本年度改善点
・読み上げ、入力	義務教育課人事班 高校教育課人事班		人事委員会（氏名・受験番号によらず、整理番号により作成した総合成績一覧表を教育委員会に渡す）
			人事委員会（氏名・受験番号によらず、整理番号により作成した総合成績一覧表を教育委員会に渡す）

